

資料3 実務研修内容【分野別】

以下の内容を参考にして講義・演習が組み立てられます。

1) 臨床栄養分野

臨床栄養（項目番号：R23-101～111、R23-200）

科目名	病態栄養	単位数	講義 6 単位 演習 5 単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。 【講義】 1) 消化器疾患 2) 代謝疾患 3) 呼吸器疾患 4) 循環器疾患 5) 腎疾患 6) 血液疾患 7) その他の疾患 8) 周産期医療 9) 救急・救命医療 10) 外科疾患と栄養 11) 緩和医療 【演習】 グループワーク：症例検討			

臨床栄養（項目番号：R23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 食物アレルギーの病院におけるガイドラインを周知し、常食・治療食におけるアレルギー代替食を提供するスキルを習得し実践できる。また、食物アレルギーに対する栄養食事指導を適切に行うことができる。 【講義内容】 ・食物アレルギーの最新情報 ・病院におけるアレルギー対応ガイドライン ・常食・治療食時の代替食の考え方 ・摂食・誤食防止への対応			

臨床栄養（項目番号：R23-118、R23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

臨床栄養（項目番号：R23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

臨床栄養（項目番号：R23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 食事提供にかかる衛生管理基準を習得し、医療従事者としての衛生管理のための業務上の注意点を学び、病院における衛生管理を適切に実施できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な食材料の発注・検収・在庫管理を行うための適切な管理基準と体制 ・7S の理解 ・一般衛生管理プログラムの理解 ・HACCP 衛生管理の理解 ・病院栄養士・管理栄養士にゆだねられる衛生管理 			

臨床栄養（項目番号：R43-102、R43-202）

科目名	栄養評価 (栄養アセスメント)	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 臨床での栄養アセスメントは、栄養診断、栄養介入を目的に患者の栄養状態を種々の栄養指標を用いて適切に評価することが重要である。栄養アセスメントによる経済的・臨床的栄養状態の評価とその効果を内外に公表するためのスキルを習得し、適切な栄養評価を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養アセスメントによる経済的・臨床的栄養状態の評価 ・ 病態別、対象者別栄養評価 ・ 評価を公表するための統計処理 ・ 評価を公表するための研究発表スキル <p>【演習】 グループワーク：症例検討 1 グループ 5～6 人で構成するグループでディスカッションする。個々に症例の栄養スクリーニング、栄養アセスメントを行った後、グループディスカッションして、栄養評価（アセスメント）結果を関係他職種に根拠に基づき説明する。</p>			

臨床栄養（項目番号：R44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養指標による栄養アセスメント 寄与する危険因子・原因の決定 病因と身体徴候・症状 栄養診断の実施と記録（PES 報告） 			

臨床栄養（項目番号：R45-105、R45-205）

科目名	栄養管理計画と再評価	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 栄養管理をするにあたって、栄養管理者は対象者一人ひとりについて適切な栄養の指導をし、問題を解決しなければならない。そのためには、一人ひとりの情報を把握し、評価・判定（栄養診断）、計画立案、実施・モニタリングを繰り返し問題解決するための栄養管理計画書を作成し、それにそった栄養管理を行うことができる。</p> <p>さらに院内での栄養管理体制の見直しと、他職種と連携がスムーズに行えるための環境整備を実施することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養管理計画の評価 病態別栄養管理計画作成 栄養管理体制の見直し及び他職種連携 栄養管理計画の効果指標 <p>【演習】 受講者の提出した事例・症例を基にグループワークで討議し、その事例・症例に対しての栄養管理計画作成と効果指標を検討する。</p>			

臨床栄養（項目番号：R45-107、R45-207）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①栄養素の代謝についての知識を元に、経腸、経静脈、経口での栄養管理法を理解し、適切に選択、提案することができる。 ②合併症の対応法を学び、病態別、対象者別の栄養補給について、それぞれに対応した最善の栄養補給法が提案できる。 ③病態別、対象者別の栄養補給の効果と改善点について提案することができる。 <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病態別栄養素の代謝について（合併症・重症者・ICU・HCU） 経腸栄養製品（剤）や栄養補助食品の種類と内容 静脈栄養剤の種類と内容 栄養補給法を選択と評価について <p>【演習】 グループワーク：症例検討</p>			

臨床栄養（項目番号：R46-106、R46-206）

科目名	栄養指導（個人）	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>①合併症を理解し、病態を改善するための栄養食事指導ができる。 ②栄養食事指導の報告を SOAP 方式で記録できる ③栄養食事指導の成果を、発表することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養食事指導の情報を多職種での共有と、栄養治療への活かし方 ・栄養評価に基づいた効率的なプランの作成 ・POS の考え方と SOAP 方式による栄養指導記録 ・診療情報としての活用 ・栄養指導プランの作成 ・指導報告書の作成（SOAP 方式） ・高度なコーチング技術 ・行動科学・心理学 ・指導効果の統計処理 <p>【演習】 グループワーク：症例検討</p> <p>1) 1 グループ 7~8 人で構成し、テーマに沿って提示された症例について検討し、意見をまとめて発表する。 2) 各グループの発表に対する質疑応答とまとめ</p>			

臨床栄養（項目番号：R47-103、R47-203）

科目名	栄養指導（集団）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①同じ疾患を持った集団に対しての指導内容を計画・立案し、スムーズな運営ができる ②栄養指導・教室のグループダイナミクスの効果発揮ができる運営が行なえる。 ③会話をとおして対象者の心理を把握し、対象者の心理ステージに合わせた指導技法を駆使することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループダイナミクス ・心理ステージと行動理論 ・集団指導の効果と統計処理 <p>【演習】 グループワーク</p> <p>1) 1 グループ 7~8 人で構成し、下記のテーマで集団指導の目的や実施上の注意事項を話し合い、まとめて発表する。 a) 食事療法の意義 b) 嗜好品について c) 献立の調整 d) 外食の取り方 e) 減塩食の取り方 など</p> <p>2) 各グループの発表に対する質疑応答</p> <p>3) 主な疾患 a) 糖尿病 b) 腎臓病 c) 肝臓病 d) 高血圧 e) 脂質異常症 f) 心疾患 g) 呼吸器疾患 h) その他疾患</p>			

臨床栄養（項目番号：R411-101、R411-201）

科目名	チーム医療	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>チーム医療における管理栄養士・栄養士の役割について学ぶ。</p> <p>①各チームの特徴とチームの一員としての栄養管理技術を習得する。 ②チーム医療に参画し、管理栄養士・栄養士の役割を果たすことができる。 a) 栄養サポートチーム、b) 褥瘡対策チーム、c) 緩和ケアチーム、d) 糖尿病教育チーム、 e) 感染対策チーム、f) 心臓リハチーム、g) 摂食嚥下チームなど</p>			

【講義内容】

- ・ホスピタリティマナー
- ・各チームの必要性とチーム活動に必要な知識
- ・カンファレンス・回診参加のためのコミュニケーションスキル
- ・各チームにおける管理栄養士の役割の理解

【演習】 グループワーク

臨床栄養（項目番号：R411-102、R411-202）

科目名	クリティカルパス	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 ①クリティカルパスの必要性とその意義について、疾患別の標準的な治療計画書と栄養管理計画から効果的な運用について知識を習得する。 ②クリティカルパスの作成：栄養管理の精度を高めるための計画を提案し、定期的な見直しを行うためのポイントを学びパスを作成する。 ③食事提供の視点、栄養食事指導、栄養介入・評価の視点から、パスを検討し、効果的に運用することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパスの意義 ・クリティカルパスの種類と運用 ・クリティカルパスの内容の評価と評価方法 ・定期的なパスの見直し ・食事提供の視点からのパス運用 ・栄養食事指導からのパス運用 ・栄養介入・評価の視点からのパス運用 			
【演習】 グループワーク			

臨床栄養（項目番号：R412-101、R412-201）

科目名	医療連携	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
【目標】 医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。 地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・退院時サマリー（情報提供書）の目的と必要な情報 ・地域医療連携支援と栄養管理情報 ・医療連携のシステム構築のための環境整備 ・連携施設の管理栄養士・栄養士との情報交換 多職種連携のあり方			
【演習】 グループワーク 1) 多職種による栄養管理に関するディスカッション 2) チーム医療において管理栄養士・栄養士として栄養管理の提案ができる			

臨床栄養（項目番号：R50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】</p> <p>①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。</p> <p>②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。</p> <p>③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。</p> <p>④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内の医療安全のマニュアル作成 ・ 栄養間におけるリスク把握と医療安全 ・ インシデント・アクシデント報告書と業務改善方法 ・ 事故分析と再発防止、体制づくり 			

臨床栄養（項目番号：R50-104、R50-204）

科目名	院内感染対策	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を学び、院内感染対策を計画し、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の理解、院内感染対策マニュアルへの対応 ・ 標準予防策の実施 ・ 課内における感染症発生時の役割分担 ・ 栄養部門内の感染対策整備と院内感染防止のための体制づくり 			

臨床栄養（項目番号：R61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。</p> <p>②非常食に関する備えや運用について説明できる。</p> <p>③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マニュアルにもとづいた緊急時行動計画 ・ 非常食の種類と具体的活用法（備蓄量・消費期限） ・ 非常時の対応スキル ・ 非常時の食事提供対策の運用法 			

臨床栄養（項目番号：R71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行うことができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れと指導 ・ 職場の後進の指導 ・ 同僚・多職種とのコミュニケーションのあり方 			